

自己資本の充実度^(注)に関する評価の概要

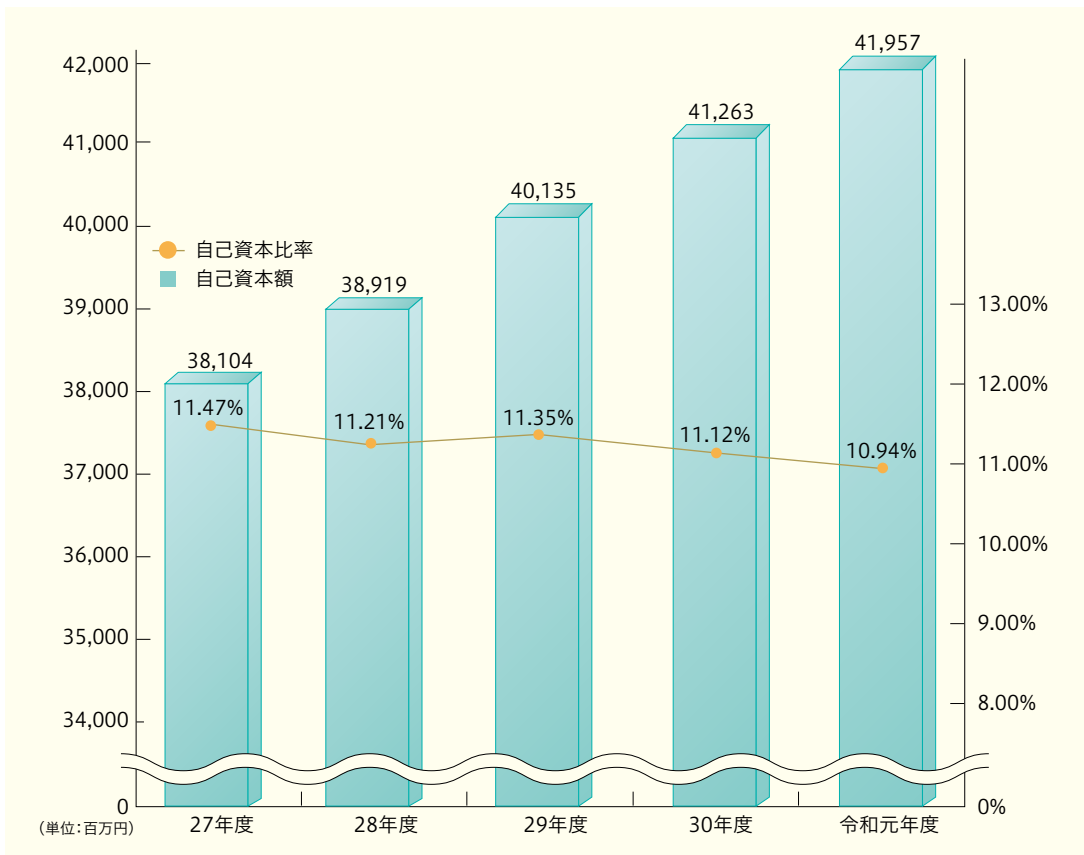
自己資本比率は10.94%となっており、国内基準である4%を大幅に上回っていることから、経営の健全性・安全性を十分保っていると評価しております。また、各エクスポージャーがひとつの分野に集中することなく、リスク分散が図られていると評価しております。

一方、将来の自己資本充実策については、年度ごとに掲げる事業計画に基づいた業務推進を通じ、得られる利益による資本の積上げを第一義的な施策として考えております。

所要自己資本の額(リスク・アセット×4%)は、15,340百万円ですが、当金庫の自己資本額は、41,957百万円と大幅に上回っております。

(注)自己資本の充実度に関する定量的な開示項目については、資料編P14に記載しております。

自己資本比率の推移



当金庫の取組み

自己資本調達手段の概要

当金庫の自己資本は出資金および利益剰余金等により構成されております。

なお、当金庫の自己資本調達手段として、コア資本に係る基礎項目に算入された額は、普通出資1,863百万円となっております。

(単位:百万円)

	平成30年度末	令和元年度末
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	41,567	42,266
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	304	308
自己資本の額((イ)-(ロ))=(ハ)	41,263	41,957
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	370,830	383,506
自己資本比率((ハ)/(ニ))	11.12%	10.94%

(注)自己資本の構成に関する定量的な開示項目については、資料編P13に記載しております。